

4 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	佐溝直彦	参加 メンバー	CL:油井武、SL 佐溝 浜島、白井、不破、三矢 渡辺(勝) 浅田、片山、 竹内、井出(敏) 井出(敦)
		報告日	4/18		
山城	美濃の山	山行日	2017年 4月 15日 (土)		
山名	金華山				
山行目的	春の例会・岐阜城を訪ねる		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)

三角点は城の西側にある気象無人観測所の裏にある...との事だがワイヤーで入れない様にしてあり未確認。
1/2.5 万地形図:

天候: 入山時は曇り後雨 下山後晴れ
山頂気温 10℃ 雨で (やや寒い)

JR 岐阜駅前 9:00 集合 (公共交通機関利用)
岐阜公園登山口全員集合 (井出夫妻合流) 9:30、
準備運動。登りは 2 つの班に分けて行動、
以下は 1 班のタイム

登山開始: 9:55 1 本 10:40-1:50 山頂 11:15
(11 時半頃全員揃う)
城内と資料館見学、下山開始 12:00 七曲り～
岐阜公園へ下山 12:45 無料休憩所で行動食。
全員写真撮影後 解散しました。

公園に残った 8 名の自由行動は昆虫館・大仏
見学や信長公居館跡見学。
公園の茶屋で名残の桜を愛でながら
それぞれに「とうふ田楽等」を味わう。

〈山行報告〉

花見の混雑を避けた日程で例会日を決めた積りが今年は遅くまで咲いておりまだ楽しめそう。岐阜駅前に着いたとたん予報通り小雨がぱらつき始めた、バスで公園まで移動中運転手も観光案内に一役買っており我々にミニガイドしてくれる、岐阜公園で全員揃い雨支度を考え乍のスタート、瞑想の小径は 2.3K だ、中間点までは緩やかな山道でポレポレと進む・急な登りになり小岩の尾根に辿り着くと北面が開けてきて長良川や街並みが見下ろせる、このビューポイントで一本、この天気では遠望はダメ・雨雲が頭上に近づき雨が来た・雨具を着用し出発、濡れた岩で滑らない様に慎重に登る、頭上の天守閣が近づいた頃きれいなツツジが目を楽しませてくれる、鼻高コースを左から合わせて程なく城の前に躍り出た。雨足が強まり早々に城内に逃げ込み 2 班の到着を待つ。天守閣からの遠望はなく場内は飲食も禁止、レストランには入りたくないので行動食は下山後と決め雨の七曲りコースを皆で下る・途中までは階段状で道幅も広く急勾配もない、快調に 1 ピッチで公園に無事降り着いた。丁度その頃雨も止みあつという間に青空が広がった・・・どうやら山中では信長公の機嫌を損ねていたらしいが最後は笑顔 (青空) を見せてくれたのでヨシとしたい。

解散後は見学や飲食でのんびりし春の岐阜公園をそれぞれに楽しんで帰路についた。

今例会の狙いは「身の丈に合った山・戦国の歴史を訪ねる・公共交通機関利用」であったが一例として実行できよかった、ご参加の皆さんに感謝します、有難う御座いました。(SL 佐溝 記)

《フリースペース》

桜の岐阜公園にて



確認
(リーダー)
油
17/04/18*
井
作成
(報告者)
佐
17/04/18*
溝

〈リーダー所見〉

今年は桜の開花が 2W 以上遅れていたが今が盛りの岐阜公園。金華山の鬱蒼とした小雨の森を登る中に花かんざしをさしたように咲くつつじが気持ちをぱっと癒してくれた。おでんとでんがくの違いを議論しながら下山後のちょっと一杯を思い描き、楽市楽座の信長公を偲ぶ幸せな山旅であった・・・多謝